春先の子供の健康

入学前に健康診断と豫防接種

この四月に小學校へ入學する子供には入學前にかならず健康診斷を受けさせましょう。

また、種痘、ジフテリヤ百日咳等の予防接種をまだすましていない子供には、今のうちにすませましょう

健康状態や発育に気をつけ、お子さんの學習効果をあげるよう心がけたいものです。

乳幼兒のしつけ

子供のしつけは赤ん坊のうちから始めよといわれています。

赤ん坊はおなかがすいたときも、風邪を引いて工合の悪いときもただ泣くだけです。その泣声や態度をよくききわけてやるのがお母さんの役目です。

そのほか、汚れたおむつを手まめに取替えてやること、授乳や睡眠、食事、便通等を規則正しくさせることなどが大切です。

子供の偏食

子供の食べ物は將來を左右します。

発育盛りの子供はとくに好き嫌いがありますがこれを放っておくと完全な発育ができなくなり、いろいろの障害を起したりすることになります。

食物の取合わせや調理方法をよく考え、偏食ぐせを早く直して正しい栄養を與えるようたえず工夫するようにしましょう。

たばこの消費量

市民一人当日三、六本

たばこが我々と密接不可分のものであることは、今更言うまでもない。

朝、眼をさまして先づ床の中で一日の計画を樹てようと思うとき、出勤して机に向い思考をめぐらすときの一服、食後の憩いのひとときのたばこの味はまた格別。

ところで愛煙家の一番多い國はさすがに原産地といわれるだけあってアメリカである。

日本の昭和三十一年度消費本數は千二十九億八千百六十八万本、二千百六十四億三千八百八十万円の売上げで、一年間の國民一人当りの消費本數を比較してみると別図のとおりである。

また我が國の場合、全人口と喫煙家の比率をみると全人口のおよそ四分の一が喫煙推定人口とされ、推定喫煙者一人当りの喫煙量は一日平均十四、一本である

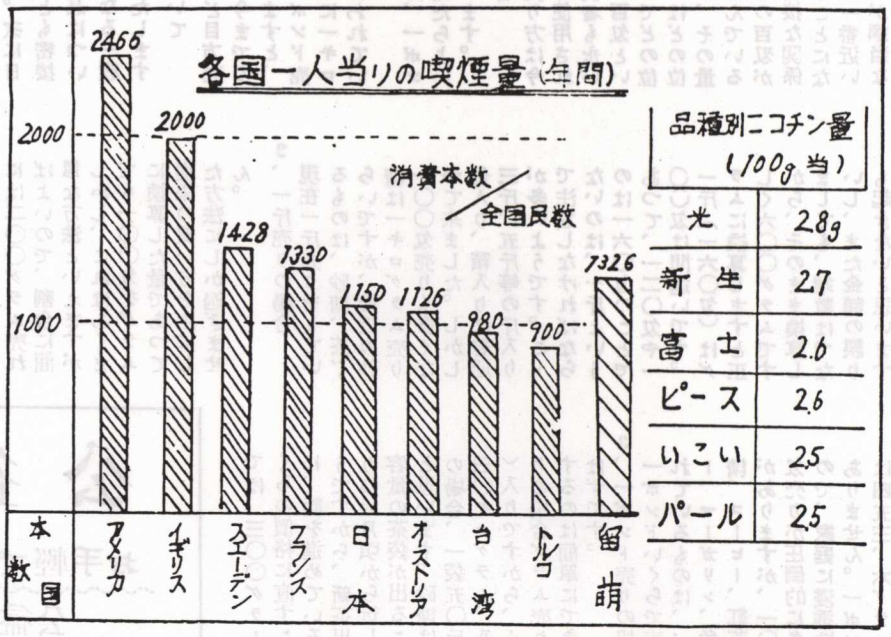
留萌市の昭和三十二年中の消費量は五千二百十七万三千六百五十本、一億一千九百六十四万七千円の売上げ、市民一人当り喫煙量は全国平均より上廻る。

ところで、同じ買うならタバコは市内で……

市の収入になるたばこ消費税は売上の九パーセントで、昭和三十一年度は一千五十万円の多額に上り本年度は一千八十万円が予想せられる。

我々はたばこというとニコチンが気にかゝる、そこでニコチンと関連してたばこの上手な喫い方にふれておこう。ニコチン量は喫い方によって非常に違うそうで、一本のたばこをその長さの四分の三喫うと、二分の一で喫う場合に比べて約二倍のニコチンを口の中に入れることになる

これはたばこの中のきざみにニコチンを吸着ろ過する作用があるからだそうだ従ってたばこの本当のうまさを味うには、好みの銘柄を選び一本の長さの半分までにとゞめておくのがよいとのことである。



メートル法ものがたり

▲エジプトのピラミッドは三〇〇〇年前の建築▲これを作った技師は二種類のものさしを使っていた▲一つは国王のまえ腕の長さをもととしたもの▲もう一つは人民のまえ腕の長さ▲両方ともキュービットと呼ぶ▲ピラミッドの外側の寸法は人民のキュービットで、王の棺をおいてある内側の寸法は王のキュービットで作つた▲人民のキュービット四五〇ミリメートルは、ピラミッドの積み石の標準▲王のキュービットは五二五ミリメートル▲次に時計の話▲時計や角度は何故一〇進法でなく六〇進法か▲これは昔バビロニアで、度量衡はもちろん、すべての計算に六〇進法を使つていた▲これが現在まで残っているのは中近東諸国▲六〇進法は十進法にくらべて便利だ▲それは一〇はその$\frac{1}{2}$、$\frac{1}{5}$だけが完全數であるが、六〇は$\frac{1}{2}$、$\frac{1}{3}$、$\frac{1}{4}$、$\frac{1}{5}$、$\frac{1}{6}$、$\frac{1}{10}$、$\frac{1}{12}$、$\frac{1}{15}$、$\frac{1}{20}$、$\frac{1}{30}$が完全數であらわされる▲漢の制度のこと▲すぐれた王様で黄帝と云う人がいた▲音楽に力を入れて音律▲基準をきめる黄鐘（オーシキ）と呼ぶ笛を作つた▲この笛はコーリャン九〇粒分の長さがあつた▲コーリャン一粒は一分（ブ）で、一〇分が一ォ、一〇寸を尺とした▲この黄鐘笛の中には一二〇〇粒のコーリャンが入る▲この一二〇〇粒分のますめを龠（ヤク）とし、二龠を一合、一〇合を舛とする▲重さはコーリャン一〇〇粒を銖（シュ）、二四銖を兩（リョウ）一六兩を斤（キン）と定めた▲これが日本に入つたきたもの▲古事記の中の度量衡の話を一つ▲景行天皇の身長一丈二尺、すねの長さ四尺二寸、反正天皇は身長九尺二寸五分、歯の長さ一オで巾二分あつたと云う▲また景行天皇は長六尺、巾三尺、厚さ一尺五寸の石をけとばした▲いくら昔の人が大きくてもこんなことは考えられない▲ところがこのものさしは前に書いた黄鐘尺をもととした周尺で、今のかね尺の六寸▲大寶律令が出來るまでの寸法をこれになおすと今とあまり変らない▲景行天皇の一丈二尺は七尺、反正天皇は五尺六寸、歯の長さ六分▲けとばした石も三尺六寸×一尺八寸、厚さ九寸ほどのもの▲力道山ならけとばすことができるかも知れない▲昔からメートル法があればこんなめんどうなことはなかったろう。

羅災者に見舞

去る一月二十七日の火事で全焼した元町三丁目志子田さん、毛内さんに対して次のような温かいお見舞がよせられました。

一金一二、五三〇円、米三斗、いも一俵半、みそ二〇キ、正油二升四合、野菜十〆五百匁、澱粉三升、砂糖百匁

衣類十六点

北部民生委員協議会

一、寝具一式、衣類五十点

その他十六点

母子あゆみ会

写真は罹災者に寝具をおくる
母子あゆみ會

家庭メモ

●白米を食べても脚氣にならないために

強化米というのが、米屋で売られています。

これは日本人に不足しがちなビタミンB1を米に人工的に加えたもので、この強化米を、白米四百粒に一粒程度混ぜて炊いて食べていれば、白米病といわれる脚気を予防することができます。厚生省では国民の体位の向上のために、その利用をすすめています。

●皮ふを美しくするために

皮ふの健康と密接な関係のあるビタミンAやCは、人参にたくさんふくまれています。

冬はとくにビタミンAやCが不足しがちですから、つとめて毎日人参を用いましょう。その量は一日に卵大のものを一切れ程度でよいのです。

郷土室 ⑭

＝漁業＝

当時の東西兩蝦夷地の漁業を見ると、西蝦夷地の産額は、はるかに東蝦夷地より多かつた。これは西蝦夷地は、鰊、鮭ともに豊富であるのに、東蝦夷地は、鰊が少く、鮭、鱒は未だ開拓されていなかつたためであります。当時の東西兩蝦夷地の運上金を比べてみると天明四年の藩主直領の収納は、西蝦夷地三千五百三十九兩二分、東蝦夷地六百六十兩二分、寛政八年九月の調査では藩士知行場所の運上金は、西蝦夷地三千七百五兩、東蝦夷千八百十五兩二分で、西蝦夷地の運上高は、東蝦夷地の倍になつております。留萌、増毛、苫前地方は、その中心でありこの地方の漁獲の王座を占めていたのは、実に鮭でありました。

このようなときに、留萌漁場の開拓に努力した栖原氏は、留萌漁場に鰊が豊富であることを發見して、鮭漁を中心とした過去の漁業をすてて、鰊漁を主体とする漁業へと大転換したのであります。即ち副業として鰊漁の行われた時代に、專ら使用してきたタモ網をやめにし網を使用するようになり、年々一千石位の漁獲をするようになつたといわれます。

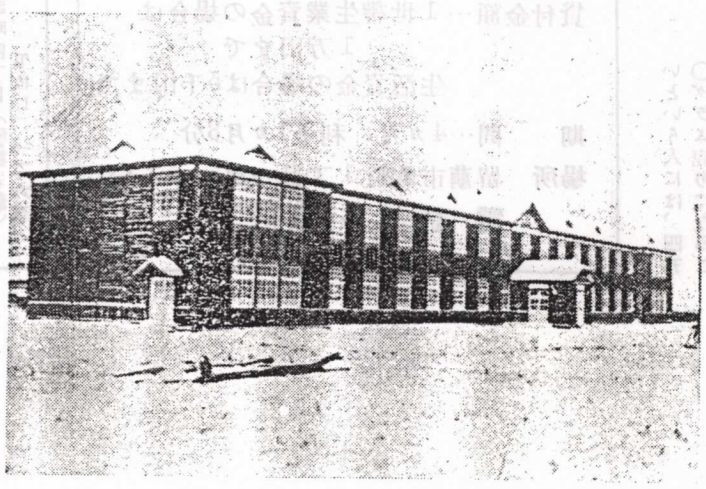
天明六年近藤重蔵日記には、留萌漁場に次いで、苫前漁場のことが記されています。

トママイ運上家　漁場請負人松前板垣五左ェ門下代儀兵衛

運上家働キ　二十人

運上金　小判二百五十兩外ニ小判百兩、なまこ

家數　六十七軒、漁舎夷人建物ヲ合ハセ



人數　百二十五人　内男七十人、女子供五十五人

とあるのからみて、苫前も留萌におとらぬ漁場であつたことがうかがわれます。

留萌漁場は、請負人栖原氏が、鮭漁を主体とする漁業から、鰊漁を主体とする漁業に転向したとはいへ、鮭漁は鰊漁と對立して行くものであつて、その運上金に、常に秋味の名があるのに、鰊漁は只、土産の筆頭に名をつらねるのみであることによつても、いかに鮭漁が、重要な地位を占めたものであるかゞ察せられます。